

横須賀市天神島に生息する貝類の記録 (2015)

栗原健太・高橋周平・長谷川実李・大久保奈弥

資料の概説

砂浜は、陸上と海洋という極めて異なる二つの生態系の遷移帯にあるため、周辺環境の調整に重要な役割を担っており、我々人間に多くの生態系サービスをもたらしている。陸から川を流れて海へと流れた土砂は砂浜となり、同じく流れてきた栄養塩は砂浜を通り浄化され、海へと拡散し、漁業資源を育む。また、砂浜の照度・温度・湿度といった環境要因は非常に動的であるため、周辺環境の生物多様性も大変高い。しかし現在、ダム建設や防潮堤といった人工構造物により、山から海へと流れるはずの土砂が堰き止められ、日本各地で砂浜が消失または減少し、漁業種の維持や都市景観の保存といった様々な観点から大きな問題となっている。加えて、東日本大震災による大津波、東海・南海大地震の予想などから、大規模地震による津波からの減災を目的として、砂浜海岸に巨大な防潮堤が建設されている。各地で砂浜海岸が消失すれば、漁業資源や観光・レジャーといった様々な生態系サービスを失うことになり、経済活動にも影響を与えると考えられる。そこで我々は、現在日本の砂浜海岸を含む沿岸域にどのような生き物がいるのか、その現状を把握するため、海の生き物を守る会と（公財）自然保護協会と合同で、毎年春と秋の2回、関東の砂浜海岸で生物の調査を行っている。2015年10月には、横須賀市天神島ビジターセンターの笠島を望む砂浜海岸（35.22° N, 139.60° E）において、砂浜海岸生物調査を行った。開発の進む関東の砂浜海岸の中で、天神島は数少ない自然海岸のひとつであり、そこで拾得した（=生息する）貝類のデータは、他の海岸の貝類情報と比較するために重要である。また、今回の調査では、天神島ビジターセンターのHPに記載されている貝類以外のものも見つかっている。そこで、貝類多様性研究所の山下博由氏と北海道大学名誉教授の向井宏の協力によって同定できたものについて、資料として報告する。

表 1 横須賀市天神島の砂浜海岸 (35.22° N, 139.60° E) で見つかった貝類

	網	目	科	属	種名	場所	日付
軟体動物	腹足綱	古腹足	ニシキウズ	コシダカガンガラ	<i>Omphalium Pfeifferi Pfeifferi</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	腹足綱	古腹足	ニシキウズ	ニシキウズガイ	<i>Trochus sacellus</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	腹足綱	新生腹足	フトコロガイ	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	腹足綱	新生腹足	タカラガイ	カミスジダカラ	<i>Palmadusta artuffeli</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	腹足綱	新生腹足	オニツノガイ	オニツノガイ	<i>Cerithium kobelti</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	腹足綱	新生腹足	スズメガイ	キクスズメ	<i>Sabia conica</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	二枚貝綱	イガイ	イガイ	ヒバリガイモドキ	<i>Hormomya mutabilis</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	二枚貝綱	ザルガイ	マルスダレガイ	ウチムラサキ	<i>Saxidomus purpurata</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日
軟体動物	二枚貝綱	ザルガイ	マルスダレガイ	オニアサリ	<i>Protothaca (Notochione) jedoensis</i>	天神島ビジター センター砂浜	2015年10月31日